平成２８年度　学校教育目標の具現化のための重点・努力点

学校教育目標	確かな学力を身に付け、健康で心豊かな生徒の育成			
目指す生徒像	よく学ぶ生徒	心豊かな生徒	健康でたくましい生徒	
重 点 目 標	わかる授業に取り組み、確かな学力の定着・向上を目指す。	体験活動を一層充実し、心豊かな人づくりを目指す。	体力の向上と安全指導	開かれた学校づくり
本年度の 重点・努力点	①基礎・基本の定着 ・「吉岡検定」〔読む・書く・計算〕各学年 98%以上 ・繰り返し学習する機会の意図的な設定 ・家庭と連携し、学習習慣の確立 ②授業規律の徹底(学習規律「よじおか」) ・挨拶、話を聞く態度等約束ごとの徹底 ③ねらいを明確にした授業の展開 ・一単位時間毎に目標を提示 ・導入、発問および学習形態の工夫 ・少人数指導の実施(国、社、数) ④言語活動の充実 ・ｱｸﾃｨﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞ（主体的、協働的な学習活動）の展開 ・学び合い活動、体験的活動の積極的導入	①時を守り、場を清め、礼を正す。 ・無言整列(集会時)、無言清掃の実施 ②スキル教育の充実 ・コミュニケーション能力の向上 ③命の教育、心の教育の推進 ・道徳的価値を深める授業の実践 ・人権旬間、絆週間の実施 (5 月,9 月,12 月) ・元気なあいさつと返事 100% ④いじめ撲滅運動の展開 ・きめ細やかな日常観察と教育相談 ・定期的なアンケート調査（年 5 回） ⑤ノーマライゼーション教育の推進 ・障害に即した交流や共同学習の実施	①体力向上の推進 ・課題をふまえた授業や部活動の実践 ・新体力テストの総合評価 95%（A＋B＋C） ②健康教育と食育の充実 ・生活習慣の改善 ・家族と一緒に朝ごはんの奨励 ③主体的な部活動への取組 ・目標設定と計画的な取組、感動の共有。 ④安全行動の習慣化と事故防止の徹底 ・自らの命は自ら守る意識 ⑤地震、竜巻等の自然災害や不審者対策への 取組 ・緊急地震速報の活用、対応マニュアル整備 ・小学校と連携した引き取り訓練	①授業公開やＨＰを活用し教育実践を地域に積極的に発信する。地域の行事へ積極的に参加する。里山活動との連携を図る。 ②学校支援ボランティア組織を整備し、学校・家庭・地域社会が一体となった教育活動を推進する。（コーディネータとの連携を図る。人材バンクを整備する。） ③学校間の連携や交流を進める。（幼保、小、中との連携を緊密に行う。）
学校研究課題	確かな学力を高めるとともに 自他の大切さを認められる志高い生徒の育成 －自ら動く意思決定場面を創出する活動を通して－		◎「学力日本一」を目指します ◎ 吉中生は、これができます ①毎日朝ごはんをしっかり食べます。 ②「はい」としっかり返事をします。 ③「ありがとう」「ごめんなさい」が言えます。 ④友だちを大切にし、たくさん作ります。	